

アメリカ西海岸における 大学機関リポジトリの状況について

日時：平成18年8月28日（月）

場所：広島大学中央図書館ライブラリーホール

広島大学図書館研究開発室
藤川功和

teika@hiroshima-u.ac.jp

アメリカ西海岸三大学図書館調査報告概要

1. 出張期間と訪問大学
2. カリフォルニア大学バークレー校
3. スタンフォード大学
4. カリフォルニア工科大学
5. まとめ

1. 出張期間と訪問大学

- 出張期間
平成18年1月29日(日)
～平成18年2月5日(日)

<訪問大学>

- カリフォルニア大学バークレー校(1月31日 AM10:00～)
- スタンフォード大学(2月1日 PM1:30～)
- カリフォルニア工科大学(2月2日 PM4:30～)

2. カリフォルニア大学バークレー校



- 〔カリフォルニア大学バークレー校〕
- 1868年設立
- 州立大学
- 教員数
約8,200人
- 学生数
約32,000人
(院生約9,000人)

聞き取り調査(カリフォルニア大学バークレー校) 1.1

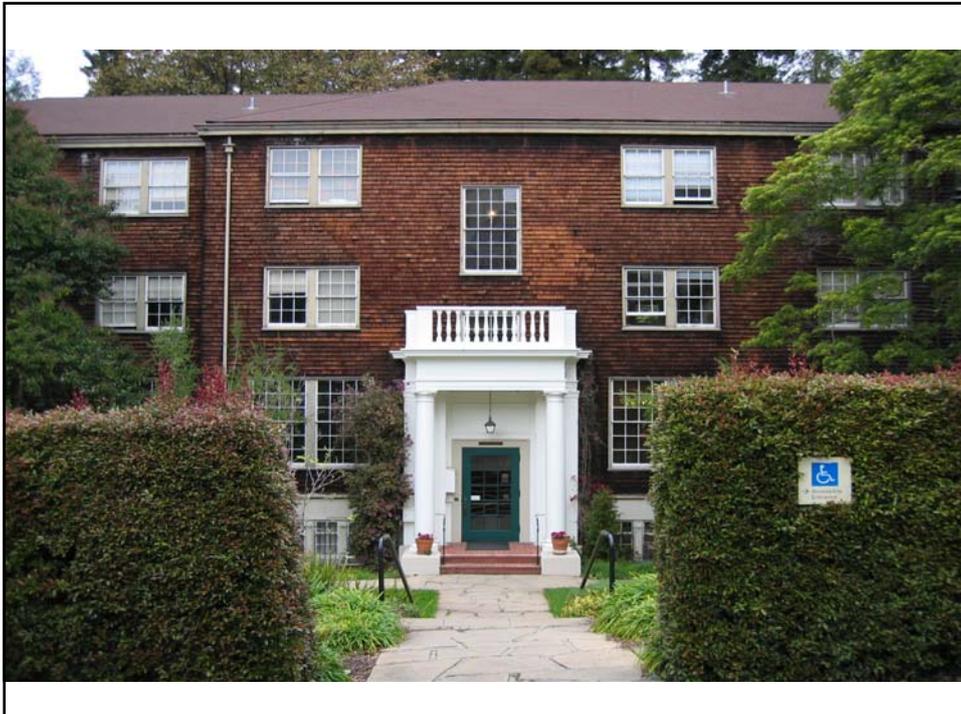
- オープンアクセスシステムを導入
eScholarship <http://repositories.cdlib.org/escholarship/>
- 全学問分野を対象
- 数を問題とはしない
- 学問分野によって温度差
- リポジトリの構築も学問分野によってまちまち

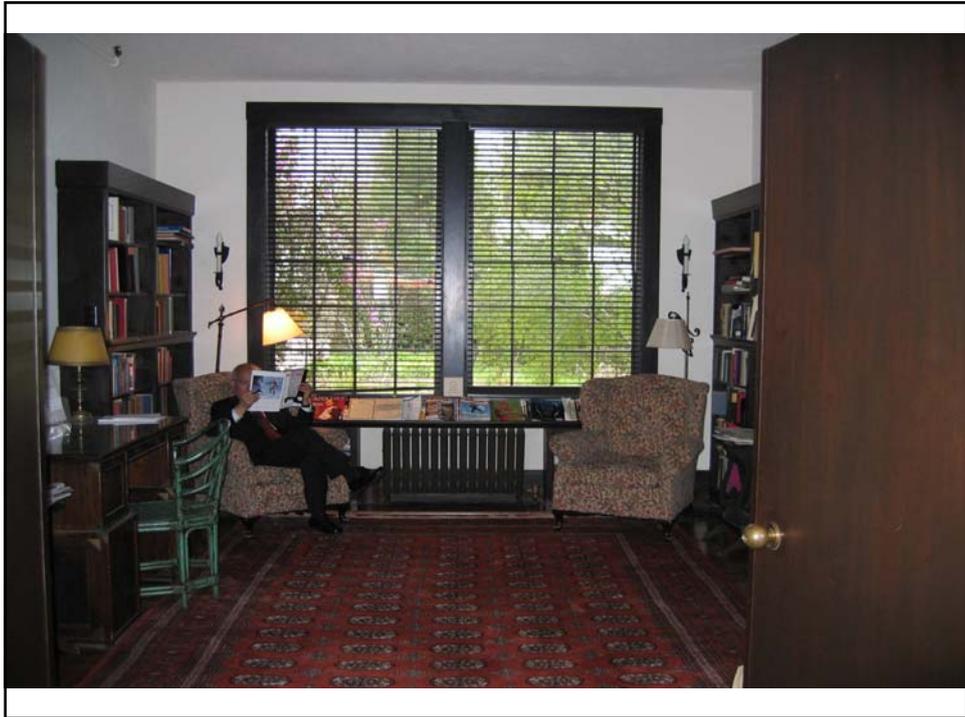
聞き取り調査(カリフォルニア大学バークレー校) 1.2

- e-booksとアメリカの大学図書館
- カリフォルニア大学全10校の図書館
- 最終的な統括機関として「総長室」

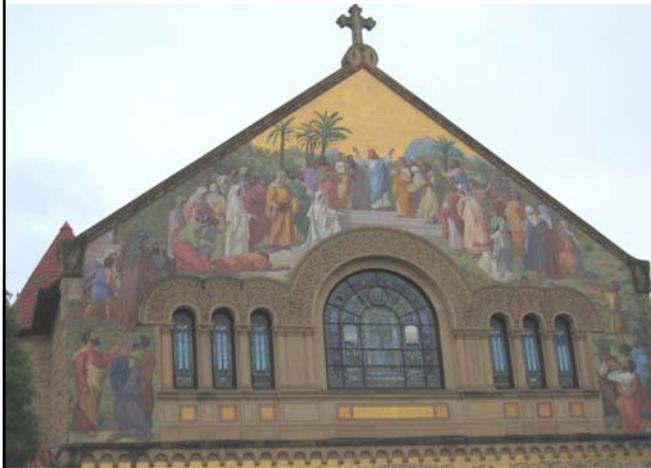
聞き取り調査(カリフォルニア大学バークレー校) 2

- 東アジア言語文化学部では、リポジトリを教員評価資料としない





3. スタンフォード大学



〔スタンフォード大学〕
○1891年設立
○私立大学
○教員数
約1,600人
○学生数
約14,200人
(院生約7,700人)

聞き取り調査(スタンフォード大学) 1.1

- スタンフォード大学東アジア図書館
→前身は、フーバー研究所
- 1945年から7年間で主に20世紀の社会科学の本を大量購入
- 日本の版本500タイトル(約1,900冊)も購入
→1988年に粕谷宏紀氏が調査

聞き取り調査(スタンフォード大学) 1.2

- 近年、グーグルと提携
<http://books.google.co.uk/>
- KOTAKE氏の意見
 - ①デジタル化をいくら進めても100%は難しいのでは
 - ②紙媒体と電子化のバランス

聞き取り調査(スタンフォード大学) 2

- リポジトリは義務ではない
- 物理学や医学分野の研究者はリポジトリに熱心
- 人文社会科学系では、殆ど関心がない
- 人文分野の各研究者は、年に一回、業績を紙資料により提出
- カーター氏の意見
 - ①学問分野によって時間のかけ方が違う
 - ②文系と理系を一律には評価できない

4. カリフォルニア工科大学



〔カリフォルニア工科大学〕

○1891年設立

○私立大学

○教員数
約400人

○学生数
約2,200人

(院生約1,300人)

聞き取り調査(カリフォルニア工科大学) 1

- 2000年から機関リポジトリ開始
- Caltech Collection of Open Digital Archives (CODA)
<http://library.caltech.edu/digital/>
- 工学分野ではそれ以前から実験的運用
- 工学分野につづき、物理学分野参画

聞き取り調査(カリフォルニア工科大学) 2

- 2003年以来、学位論文はデジタル化したものを提出
- 全ての学位論文は、PDFの形で、オープンアクセス可能
- 大学当局から研究者(学生)への要請
- 論文執筆者への確認必要

聞き取り調査(カリフォルニア工科大学) 3

- 現在のコンテンツは、学位論文が中心
- CAV 2 0 0 1 (Fourth International Symposium on Cavitation. Hosted by Caltech, June, 2001)
- その成果がリポジトリに入れられ、世界的に好評を博す
<http://cav2001.library.caltech.edu/>

聞き取り調査(カリフォルニア工科大学) 4

- 工学分野は非常に熱心
- 積極的でない研究者は、忙しさを理由にする
- リポジトリの目的とコンテンツは、ライブラリアンが決める
- クオリティーコントロールもライブラリアンの仕事



5. まとめ

- 機関リポジトリへの登録は義務ではなく任意である
- 学問分野によって温度差がある
- 機関リポジトリの構築と公開は、大学の〈社会〉への「説明責任」の重要な方法

